

作された。之はレンズを用ふる代りに、アルミナイズされた凹凸面反射鏡を使用したものであつて、可視光線によつて焦点を合せた後紫外スペクトルで寫眞撮影を行ふものである。作動距離が大きく (1.5cm) 高倍率 (700

倍) が得られる爲に金屬表面の高温組織を撮影するのに適してゐる。既に赤熱状態に於ける Ni 鋼や Mo 等の組織を撮影して成功を収めてのるといふ。

(堀川一男)

“製鐵業參考資料”の再刊

(昭和 18 年—昭和 23 年)

資源廳官房長官統計課編

日本鐵鋼連盟發行

製鐵業參考資料(俗に赤本)は生産、需給、價格、輸出入其他本邦鐵鋼業に關する各種統計として從來毎年商工省で編集刊行され關係方面に利用されて來ましたが發行は昭和 17 年迄に止まり以後中絶されておりました。今回掲記の如く昭和 18 年から 23 年迄の分が一纏めにされて刊行されました。見本は當會に備へてあります。御所望の方は當會迄御申込み下さればお願ひします。

B 5 判上製。879 頁。頒價 1800 圓。